

相談フローチャート(仮)について

1 背景

障がい当事者の各ライフステージの中で相談先は多数あり、特に当事者にとってはどこに、何を相談すべきかわかりにくい。さらに、ライフステージが移行するタイミング（乳幼時期から学齢期、学齢期から成人、成人から介護保険など）での関係機関等とのつなぎにおいては、制度の違いから大きな変更がある。

また、障害福祉サービスを利用していない方の相談や中途障がい、精神障がい等、障がい特性によっても相談支援上の様々な課題があり、特に関係機関等とつながっていない障がい者、制度の狭間でひきこもりになっている方等の課題もある。

そのため、相談につながる・スムーズに移行する・ライフステージごとの相談先をわかりやすくすることで、地域で安心して生活できる環境をつくり、「誰一人取り残さない」社会を目指す。

2 到達点

パンフレット(マニュアル)完成、配布

3 作成プロセス予定

回	日程	検討・実施内容等
第1回	令和7年7月30日	・実際に部会員が受けた相談、聞いた話などの事例から課題を抽出・整理
第2回	令和7年11月頃	・整理した課題をライフステージごとに振り分け ・相談先機関の当てはめ
第3回	令和8年2月頃	・最終確認 ・完成



配布予定

○本日の実施内容

時間	形態	実施内容等
5分	個人ワーク	・実際に受けた相談、周りから聞いた相談等の事例を付箋に書き出す。
45分	グループワーク	・個人ワークで書き出した相談事例をグループで整理（年齢別、分野別など）し、模造紙に貼りつける。
15分	全体発表	・グループ内でどのような話が出たのか（傾向、課題点、難しかったところなど）を発表

